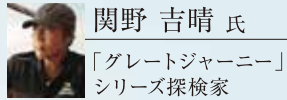


10:00~10:15
開会宣言

10:15~12:17
上映
「縄文号とパクール号の航海」(水本 博之 監督 / 122分)

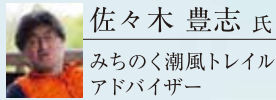
12:17~12:25
休憩

12:25~13:25
対談



関野 吉晴 氏

「グレートジャーニー」
シリーズ探検家



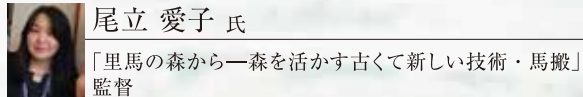
佐々木 豊志 氏

みちのく潮風トレイル
アドバイザー

13:25~14:20
くり返し上映 子ども向けアニメーション
「ビギア」(マルセル・バレリ 監督 / 8分 / スイス)
「スティックス&ストーンズ」(アイザック・キング 監督 / 4分 / カナダ)

14:20~15:20
上映
「里馬の森から—森を活かす古くて新しい技術・馬搬」(尾立 愛子 監督 / 60分)

15:20~15:50
トーク



尾立 愛子 氏

「里馬の森から—森を活かす古くて新しい技術・馬搬」
監督

15:50~16:00
閉会宣言



種差海岸インフォメーションセンター
レクチャールーム
八戸市大字鮫町字棚久保 14
167

11月20日(日)

入場無料

グリーンイメージ 国際環境映像祭 —in青森—



縄文号とパクール号の航海

『グレートジャーニー』シリーズの探検家 関野吉晴が企画した途方もない旅……。それは「自然から素材を集めて鉄器を作り、その鉄器で舟を作り、エンジンを使わずに鳥影と星だけを頼りにインドネシアから日本まで来る」というものだった。しかし、作りあげた舟は逆風で進むことができない欠陥を抱えていた。進まないときは歩くよりも遅い舟。停滞に停滞を重ねる舟の上で暮らす 10 人のクルー。カメラは圧倒的な自然の力に翻弄されながら喜び、怒り、哀しみを分かち合った 10 人に寄り添い見つけていく。この旅は彼らに一体何を気づかせるのだろうか？



里馬の森から— 森を活かす古くて新しい技術・馬搬

現在、日本では人と馬がともに暮らす姿は見ることができなくなった。山から木を馬と共に搬出する「馬搬」を生業とする馬方は、馬搬が盛んだった東北地方でも岩手県の 74 歳の職人とその弟子 38 歳の 2 人だけになり、全国でも数名を残すのみである。50 年ほど前はまでは、人と馬が共に 1 つ屋根の下で暮らし生きていた。今、機械に頼らない、山や自然を壊さない生き方が注目されている中、わずかに残る昔ながらの馬との暮らしや文化を 1 年に渡り記録した作品。

主催：NPO 法人 青森バイオマスエネルギー推進協議会 <http://bioene.jp> 青森県三沢市新町 2-31-2171 TEL 0176-53-4175

共催：グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会

協賛：株式会社モンベル/株式会社 ALMACREATIONS/株式会社高橋/株式会社八幡馬/NPO 法人 日本の森バイオマスネットワーク